

平成 27 年度甲府市総合計画審議会 第 2 回審議会 議事録

日 時：平成 27 年 6 月 30 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 3 時
場 所：甲府市役所本庁舎 6 階大会議室
委 員：出席（20 名）— 丸山委員（会長）、大塚委員（副会長）、浅利委員、雨宮委員、池田委員、石原委員、市川委員、牛奥委員、大木委員、菊地委員、窪寺委員、齋藤委員、佐々木委員、佐藤委員、末木委員、土橋委員、中澤委員、兵道委員、松野委員、望月委員
欠席（7 名）— 池上委員、奥山委員、長田委員、小松委員、深沢委員、森委員、山中委員
事 務 局（企画部企画総室総合計画課）：萩原企画部長、窪田企画総室長、野村企画財政室長、下山財政課長、深澤政策課長、萩原総合計画課長、武川総合計画担当参事、長田総合計画担当参事、里吉総合計画課課長補佐、鷹野総合計画課係長、宮野総合計画課係長、佐久間総合計画課係長
コンサルタント（システム科学コンサルタンツ株式会社）：横山、古谷
傍 聴：なし
報 道：2 名（日本工業経済新聞記者 1 名、朝日新聞記者 1 名）

■議事内容

【第 2 回審議会】

1. 事務局説明

事 務 局：過半数の委員が出席されていますので、甲府市総合計画審議会条例により会議が成立していることを報告させていただきます。第 1 回審議会をご都合により欠席されました委員を紹介させていただきます。

《委員の紹介》

事 務 局：数名の委員が市の別の会議に出席されるため、途中で退席されるとの旨を予めお伺いしておりますのでご了承頂きたいと存じます。それでは丸山会長に進行をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

2. 議事

（1）第 1 回審議会の議事録の確認について

会 長：議事の 1. 第 1 回審議会の議事録の確認について、事務局より説明をお願いします。

《事務局説明》

会 長：今の説明に対してご意見・ご質問等ございますか。

《質問なし》

会 長：特にご意見・ご質問等がないようですので、今の説明の通りと致します。

事 務 局：併せて、前回ご要望を頂いた各種アンケート調査の結果比較について説明をさせていただきます。資料 1-2 をご覧ください。

《事務局説明》

- 会 長：各種アンケート調査の結果を比較し、回答傾向に違いが出たものについて説明して頂きました。追加でご意見・ご質問はありますか。
- 委 員：市民アンケートについてですが、対象者の居住地区、人数を教えてください。
- 事 務 局：甲府市の小学校区別の人口に比例配分し、無作為に対象者を抽出した上で郵送致しました。回答結果につきましては、東部、西部、南部、北部、中央部の5つの地域に分けて集計させて頂きました。
- 委 員：山城地区、玉諸地区など甲府市でも人口が増えているところがあります。これらの地区では子どもの数が増え、小学校が2度、3度と増築しています。人口が増えているところ、減っているところという区分でアンケートを整理すると、なぜこれらの地区に人が集まるのか、なぜ住みやすいと思うのかということがもっと見えてくると思います。通勤者アンケートに関しても、県内のどこから通っているのか教えてください。また、全国的に人口が減少する中で、甲府市が人口を増やすとなると、首都圏から移住して頂くことが良いと思います。そのため、県内ではなく県外、特に首都圏の方が山梨県や甲府市のことをどう思っているのかを知ることが重要だと思います。
- 事 務 局：市民アンケートの地区別の結果について申し上げますと、北部地域において「住みやすい」との回答が一番多く、他の4つの地域では「どちらかといえば住みやすい」との回答が一番多くなりました。また、各地域共通して「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」との回答が65%を超えています。特に中央部地域では75%近い方が「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答しています。アンケートを首都圏の方にもするべきだというご意見に関しましては、総合戦略という計画で、人口対策と地域活性化の方策を検討しておりますのでご了解頂ければと思います。
- 委 員：甲府市で人口が増えているところ、減っているところの意見を反映させて頂きたいと思います。
- 事 務 局：人口増加に向けた施策や事業を考える際にご意見を参考にし、事業化していきたいと思います。
- 会 長：他になければ、議事録とアンケート比較の確認は以上とさせて頂きます。

(2) (仮称) 第六次甲府市総合計画の体系図(枠組み)案について

- 会 長：議事の2. (仮称) 第六次甲府市総合計画の体系図(枠組み)案について事務局から説明をお願いします。

《事務局説明》

- 会 長：資料2の説明でしたが、ご意見・ご質問はありますか。
- 委 員：人口減少への取組に関しては別途計画を立てているとのことですが、相互に関係しているように思われるので、総合計画との関係について説明して頂きたいと思えます。

事務局：総合計画は住民福祉の増進などを目的とした市政運営の指針となる 10 年間の長期計画であり、10 年後の将来人口を推計します。総合戦略は人口減少克服などを目的とした 5 年間の計画であり、人口ビジョンにつきましては、2060 年もしくは 2040 年と、さらに長期の人口の展望を出す計画になっております。これらの計画は相互に関連するものであるため、整合を図りながら、10 年後の将来人口とその先の展望を掲げて参りたいと考えています。

委員：総合計画の将来人口に総合戦略での推計は反映されないということですか。

事務局：甲府市として一連の流れの中での推計ですので、総合計画の将来人口に反映されると考えて頂きたいと思います。

会長：基本構想の枠組みに関してご意見・ご質問はありますか。この枠組みに沿って審議会が進みますので、この流れを頭に置いて議論して頂ければと思います。

(3) (仮称) 第六次甲府市総合計画の序論 (案) について

会長：続きまして、議事の 3. (仮称) 第六次甲府市総合計画の序論 (案) について事務局から説明をお願いします。

《事務局説明》

会長：計画策定の趣旨から主要な課題まで説明がありました。ご意見・ご質問はありますか。

委員：甲府市として第五次甲府市総合計画の達成度がどの程度だったかを教えてください。その説明を受け、第五次甲府市総合計画で達成度が足りなかったものを次の総合計画に活かす必要があるのか考えたいと思います。

事務局：第五次甲府市総合計画では各事業に活動指標や成果指標を設定し、どの程度達成したかを評価してきましたが、上位となる施策や基本目標については、数値を掲げて進行管理してこなかったのが実状です。そのため、総合的な結果として、住みやすさや居住意向といった市民の満足度から評価をさせていただきました。第六次甲府市総合計画ではもう少し評価しやすい形を導入したいと考えています。

会長：総合計画をどう位置づけるかによると思います。各部署での具体的な評価を出して欲しいということでしょうか。

委員：数値で評価することは難しいと思いますが、第五次甲府市総合計画で取り組んだ項目の中で今後も引き続き実施すべきことがあるかもしれません。第五次甲府市総合計画でやってきたことで、さらに具体化すべきものがあれば教えてください。

事務局：第五次甲府市総合計画の検証としましては、基本目標ごとに総括しておりまして、そちらに今後も取組が必要となるものを記載しております。

会長：私から質問させていただきます。総合計画は個別分野の総括というより、今後 10 年の甲府市の姿をどう描くかを考えるものだと思います。序論案では現状と課題が示されましたが、委員がそれぞれの立場で何を課題と捉えるかが重要となります。例えば、私が携わっている環境問題で考えますと、「豊かな自然環境の保全」とい

う問題設定では表現が弱いと思います。具体的には、エネルギー自給率を上げる必要があるなど、単に「豊かな自然環境の保全」とするのではなく、もう少し違う都市像を打ち出すべきでしょう。要するに、現時点で都市に求めるものについての意見を出すのか、それとも、もっと具体的な内容が示されてから段階的に議論するのか確認させて下さい。

事務局：序論案では甲府市における課題を大きな括りで抽出しております。具体的な取組につきましては、基本目標を達成するための施策として、次回以降お示しさせて頂きますので、その際に議論して頂きたいと思います。

会長：関心のある課題が序論案の主要な課題に挙がっていれば、表現についての議論はしなくても良いということですか。

事務局：例えばどのような表現でしょうか。

会長：例えば「自然環境の保全」では10年後の都市像をイメージできないので、「環境首都を目指す」など、もっと将来像がはっきり出る積極的な書き方に変えるといった議論をするべきかどうかを尋ねています。

事務局：序論案の課題は大まかな表現になっており、感じ方は様々だと思いますが、基本目標、施策の大綱で課題への取組を示していきますので、そこで議論して頂ければと思います。

会長：序論案では課題を示しており、その課題に対して何をするのかは、基本目標のところで改めて議論できるということに理解しました。

委員：序論案全体が漠然としているように感じました。実施計画は3か年のローリング方式としていますが、定量的に計れる具体的な目標を設定しないと、達成度が把握できず見直すことも難しいと思います。

事務局：資料2をご覧ください。次回、基本構想をお示ししますが、10年後のあるべき甲府市の姿を示す都市像、都市像を実現するための基本目標、基本目標を達成するための施策の大綱があります。それらを事業レベルで記載したものが実施計画となります。第五次甲府市総合計画では事業レベルでしか目標値がありませんでしたが、第六次甲府市総合計画では、さらに上位の施策に目標値を設け、達成度を評価できる形にしたいと考えています。

会長：基本構想の部分で目標数値が出てくるということです。序論案の課題について、取り上げるべき課題が入っていない、あるいはこの課題の中にはこういう課題も入るといったご意見あればお願いします。

委員：課題設定は概ねイメージしていた通りでした。人口減少に歯止めをかけることが最重要課題というのは共通認識だと思いますが、序論案ではざっくりと説明している感じがします。人口が減れば地域の活力が維持できないということは理解できますが、維持できなくなる水準というものがあると思いますので、次回の将来人口の設定のところで議論したいと思います。甲府市の人口減少については、県外の大学に行って戻らない、雇用の場があまりないといった要因があると思います。序論案で「若い世代の定着や流入を図る必要がある」と記載していることに

関して、甲府市を出た人に戻って来てもらう、県外から甲府市の学校に来た人に定住してもらうなど様々な取組が考えられますが、市ではどういうイメージを持たれていきますか。

事務局：雇用の多い東京に通勤できるようにする、甲府市の雇用を増やす、もしくは広域的に雇用を増やすことが方法として考えられます。10年で結果を出すのは厳しいかもしれませんが、先を見据えてこの10年間で手を打っておく必要があるという考えを持ち、実施計画の方で取り組んでいきたいと思えます。

委員：田舎暮らしを希望する若者が増えているという時代背景を考えると、若い世代が定着するにはどうしたら良いかということを含め、県外の人に選ばれるまちづくりや地域像が益々求められると思えます。人口減少の要因をしっかりと把握した上で、施策を考えないと的外れなものになってしまいます。

事務局：現在、人口減少の要因を分析する中で、長期を見据えた人口ビジョンを作っており、総合計画はその中の10年を扱うこととなりますので、実施計画の中に人口ビジョンの地域戦略が組み込まれることとなります。

委員：課題を踏まえて都市像を改善していくということですが、今の甲府市の特徴や良いところを伸ばすという方法もあると思えます。序論案の「甲府市の姿」を見ると、位置や地勢だけで甲府市の良さがどこにあるのか書かれていません。良いところを活かして人を惹きつけていく流れも必要だと思えます。人口減少への対策は他の市町村でも実施され、横並びになってしまうので、甲府市を選んでもらうためには、特徴やアピールできるところが分かると良いと思えました。

事務局：甲府市の良さにつきましては、首都圏への近接性や、首都圏に近いのに豊かな自然があることなど、アンケートやワークショップで市民の意向を確認し、「甲府市を取り巻く現状」に記載しております。また、リニア中央新幹線を活用し、甲府市独自の環境を活かしたまちづくりをしていく必要があると考えています。そのため、「リニア中央新幹線を活かしたまちづくり」を他の都市にはない主要な課題として掲げました。

会長：「甲府市の姿」において、地勢的な話だけではなく、市民が甲府市をどう見ており、どこが魅力的なのかという文章が入っていた方が良いという提案だったと思えます。私も課題だけを読むと寂しい感じがしました。序論案の章立てを変えることは難しいでしょうか。

委員：章立てを変えることは難しいと思えますので、「甲府市を取り巻く現状」にアンケート結果だけが入っているよりも、それをまとめて甲府市の魅力が記載されていると良いなと思えました。

委員：今後、審議会を重ねて基本構想を議論し、肉付けするということがよろしいでしょうか。

会長：併せて回答をお願いします。

事務局：例えば「甲府市の姿」の中に、甲府市の良さについて説明を入れるとのご意見を頂きましたが、この場では決めかねますので、持ち帰って検討させていただきます。

委員のご質問についてですが、仰る通りでございまして、次回以降は具体的な基本目標や施策が出てくるということです。

委員：人口推計についてですが、人口減少に歯止めをかけるという言葉が出ましたが、増やすことは考えていないのでしょうか。例えば、安心して子どもを産める環境づくりのような施策は考えていますか。

事務局：15～49歳の女性の絶対数が減少しているため、出生率が上がったとしても、人口が減少するというのが現在の状況でございます。

補足しますと、医療費の無料化など出生数を上げるための施策を積み重ねていっても、10年で自然増加とするのは難しい状況です。

委員：子どもを産みやすい環境にするため、甲府市で思い切った施策を打つことは考えていないのですか。

事務局：人口減少対策戦略本部を立ち上げ、人口増加のための施策を平行して話し合っており、総合計画にも反映させることになっていきます。今後、具体的な施策が出てきますので、事業として盛り込むこととなります。先ほど申し上げましたように、施策を打ったからといって、人口が急激に増えるということにはなりません。人口減少が緩やかになった後に止まり、増えていくことになると思います。効果的な施策を考え、甲府市としての独自性を出していきます。

会長：序論案に関して付け加えたい意見等がありますか。

委員：第五次甲府市総合計画の検証結果には、私にとって関心の高い動物園の整備についても、課題の記述がありました。今後どうなるのかと聞いていたところ、ニュースで動物園整備の具体的な話が出てきており安心致しました。動物園のことに加え、本日もみなさんが議論している様子から、第六次甲府市総合計画でもしっかりとした案が出てくると感じました。

会長：時代の潮流と課題、人口減少について質問がありましたが、それ以外の項目で付け加える事柄はありますか。

事務局：先ほど、施策の大綱で目標数値を置くというお話がありましたが、施策の大綱はあくまで施策の考え方となりますので、実施計画において目標数値が入ることになります。

会長：分かりました。基本構想の部分には必ずしも目標数値は入らないということです。序論案は後でゆっくり読んで頂いて、気になることがありましたら、事務局に提出して頂ければと思います。序論案の大筋を了承したということにさせていただきます。

(4) その他

会長：議事の4. その他について、委員の方から何かございますか。

《質問なし》

会長：事務局から何かありますか。

事務局：次回の日程をお決め頂きたいと思います。今回は総合計画の基本構想案について

ご審議頂く予定です。資料につきましては事前に郵送したいと考えておりますので、具体的な日時をお決め頂ければと考えています。

会 長：次回の予定について、事務局から具体的な案はございますか。

事 務 局：前回お示しした開催日程の予定では、第3回審議会を7月中旬、第4回審議会を8月上旬とさせて頂いておりましたが、審議会でお示しする資料の調整にもうしばらく時間を必要としている状況でございますので、第3回審議会を8月上旬、第4回審議会を8月下旬に変更させて頂きたく存じます。その上で第3回審議会を8月4日（火）午後1時30分から午後4時くらいを目途に開催したいと考えております。

会 長：事務局より第3回審議会を8月4日（火）午後1時30分から開催したいとの提案がありましたが、ご意見はありますか。

《異議なし》

会 長：第3回審議会は8月4日（火）午後1時30分からということで決定したいと思います。本日の審議は以上で終了します。次回から基本構想の重要なカギになる会議になると思いますので、夏の暑い時で大変かとは思いますが、できるだけご参加頂きたいと思います。本日は長時間ありがとうございました。

事 務 局：以上をもちまして第2回の審議会を閉会致します。

以上